

**実地研修会「東日本大震災の復興の現状  
～復興に向けた現在の取り組み～」を開催**

実地研修会「東日本大震災の復興の現状」が、平成29年7月20日（木）～21日（金）の間、全国から45名の参加を得て宮城県気仙沼市などで開催されました。

まず、初日には視察の理解を深めるため「気仙沼市被災市街地復興土地区画整理事業」や「仙台市南蒲生浄化センター災害復旧事業」など視察先4カ所の情報を事前に学習する講習が行われました。2日目の現地視察は、震災の爪痕が垣間見える中で着実に進む各種の復興事業を視察し、改めて震災の恐ろしさとともに災害に屈しない人間の力強さ、復興に尽力する技術者の使命感を感じ取ることができました。

また、初日の講習後には、受講者をはじめ講師をお勤めいただいた視察先の担当の皆様など総勢36名が参加し、交流会が行われました。交流会では、事前学習で学んだ点や参加者地元の状況などが話題となり、盛況のうちに終了しました。



現地視察の様子  
三陸沿岸道路 気仙沼道路  
(仮称)気仙沼湾横断橋

**実地研修会「立山カルデラ～砂防施設の  
機能と保全～」を開催**

実地研修会「立山カルデラ」が、平成29年8月3日（木）～4日（金）の間、全国から36名の参加を得て富山県立山町などで開催されました。

まず、初日には視察の理解を深めるため、国土交通省北陸地方整備局立山砂防事務所の大阪剛所長を講師にお迎えし、「立山カルデラ」の事業内容を事前に学習する講習が行われました。2日目の現地視察は、前々日の梅雨明け直後の青空がのぞく中、参加者は2班に分かれて広大な地域で行われている砂防施設群を見て回りました。富山平野の住民を土砂災害から守るため、1世紀以上にわたり幾多の技術者によって営々と続けられている国土への壮大な働

きかけを目の当たりにし、参加者は一旦猛威を振ることになれば人々の生活を蹂躪する自然の圧倒的な力、それに立ち向かう人間の粘り強さを感じました。

また、初日の講習後には、受講者をはじめ講師の大阪所長など総勢24名が参加し、交流会が行われました。交流会では、大阪講師を囲んで詳細な質問や参加者同士の地元状況などが話題となり、盛況のうちに終了しました。



現地視察の様子  
白岩堰堤

**平成29年度合同研修委員会で講習会参加者の  
増加方策などを検討**

－合同研修委員会－

平成29年7月25日（火）、協会会議室において石原康弘委員長（国土交通省大臣官房技術調査課長）はじめ本部委員8名と、今年度の講習会が開催される地元となる地方協会の皆様を中心とする地区研修委員14名の出席のもと、合同研修委員会が開催されました。

この委員会は2部構成で行われ、第1部では地区研修委員の皆様と全建本部による講習会開催にあたっての準備事項などを議題とし、第2部では石原委員長はじめ本部研修委員が加わり下記の議事が検討されました。

- 全建講習会へ参加するための課題等について
- 地元参加の促進について

—主な意見

- \*参加するための課題等について
  - ・講習会参加に要する旅費は、公費、地方協会費の助成ともに予算上の制約があり、すぐに効果が表れる方策は難しい。
  - ・仕事が忙しい中で遠隔地の講習会に参加しようとするれば、前泊などを含めて数日は職場を離れなければならないこともあり、これがネックとなることもある。
  - ・限りある旅費という課題がある中で、一人でも多く参加させるため、旅費のあまりかから

ない近隣の講習会を選んで参加させている。

- ・割引を拡大し、開催地元だけでなく近隣都道府県にも広げる。
- \* 地元参加の促進について
  - ・聴講料には地元割引制度があることの周知徹底を行う。
  - ・講習会参加者が講習会後に報告会を開き、講習内容を参加しなかった者にも伝えている。

**公共工物品質確保技術者資格試験の論文審査や面接試験の実施要領などを審議**  
 - 公共工物品質確保技術者資格認定委員会 -

平成29年8月8日(火)、協会会議室において大森文彦委員長(東洋大学法学部企業法学科教授)はじめ委員8名と、オブザーバーとして国土交通省から大臣官房技術調査課建設技術調整室の田村央室長はじめ3名の皆様の出席のもと、公共工物品質確保技術者資格認定委員会第2回が開催されました。

今回の委員会では、4月の第1回委員会で決定された論文テーマに対する審査や面接の評価ポイントなどの実施要領、また試験委員の編成等が審議され、実施要領案の文言整理など一部を修正して承認されました。

さらに、来年度の試験に向けた方針なども議論され、本年12月に予定している次回第3回委員会で改めて検討することとなりました。

**第637回、第638回建設技術講習会などの講習内容を審議**

- 第250回研修委員会 -

平成29年8月22日(火)、協会会議室において石原康弘委員長(国土交通省大臣官房技術調査課長)はじめ委員10名の出席のもと、第250回研修委員会が開催されました。

委員会では、下記の議事が審議され、講師が未定となっている一部を除き、講習演目や講師などが原案のとおり承認されました。なお、講師未定の講習演目については、講師候補が決まり次第、委員長の承認を得ることになりました。

また、その他の議題として、6月に開催された第249回研修委員会で決定された「平成30年度研修計画」のうち、開催地での他の行事とのスケジュール競合により一部の開催時期を変更し、下記のとおりとすることが承認されました。

議事

- \* 第637回建設技術講習会「災害に強い安全な国土づくり」(於:山梨県甲府市)
  - \* 第638回建設技術講習会「これからの公共事業と建設技術者のあり方」(於:岐阜県岐阜市)
  - \* 平成29年度実施研修会「平成28年熊本地震の復旧・復興の現状」(於:熊本県熊本市)
- 平成30年度研修計画

【建設技術講習会】

年月	開催地	回数	講習テーマ
30年8月	三重県	第643回	これからの社会インフラの維持管理・更新
9月	宮城県	第644回	工事積算(土木・建築)の動向と工事施工における合理化、安全対策
	鳥取県	第645回	上水道行政の課題、下水道行政の課題
10月	和歌山県	第646回	公共工物品質確保と入札契約の適正化
	富山県	第647回	これからの公共事業と建設技術者のあり方
11月	秋田県	第648回	道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題
	熊本県	第649回	災害に強い安全な国土づくり
31年1月	佐賀県	第650回	新しい技術を活用した公共事業
2月	千葉県	第651回	都市行政の課題、河川行政の課題
	愛媛県	第652回	災害復旧

【実地研修会】

年月	開催地	講習テーマ
30年7月	神戸市	明石海峡大橋～世界最長吊り橋の維持管理～東日本大震災の復興の現状～復興に向けた現在の取り組み～
	調整中	
8月	富山県	立山カルデラ～砂防施設の機能と保全～

**平成29年度公共工物品質確保技術者資格登録更新講習の申請を締め切りました**

平成29年度公共工物品質確保技術者資格登録更新の講習申請受付は、平成29年7月31日(月)で締め切られました。今年度の更新には、品確技術者Ⅰ、Ⅱ合わせて全国から398名の皆様から登録更新申請があり、今後下記の9会場で更新講習が行われます。

なお、受講者の皆様には講習実施日の約1ヵ月前までには講習受講票をお届けします。

面接試験実施都市と日程

札幌市 平成29年10月6日(金)	仙台市 平成29年10月20日(金)	東京都 平成29年9月4日(月)
新潟市 平成29年10月20日(金)	名古屋市 平成29年10月13日(金)	大阪市 平成29年10月27日(金)
広島市 平成29年10月6日(金)	高松市 平成29年11月17日(金)	福岡市 平成29年10月27日(金)

【問い合わせ先】 事業課 下野・高野・古川

TEL : 03-3585-4546 ・ FAX : 03-3586-6640

E-mail : hinkaku@zenken.com